

令和3年度環境活動状況報告

部局名: 管理部

教育	<p>◆環境講義「環境マネジメントと環境経営」でゲストスピーカーとして施設主幹による「岐阜大学の環境への取り組み」の講義を2回実施した。(受講者:前学期38名,後学期34名)また、環境集中講義「環境,CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」の開講を支援した。(受講者50名)【施設】</p> <p>◆11月の環境月間に合わせて、所蔵する環境関連の図書を展示し、意識啓発に努めた。【学術】</p> <p>◆3月に開催予定の第38回岐阜シンポジウム「木曾・長良・揖斐:歴史、自然、地域づくりを考える」の関連展示として、図書館にて「写真展:長良川風土の45年間の記録」を開催し、地域の自然環境への関心を高める機会とする(予定)。【学術】</p>
研究	
社会連携	<p>◆十六銀行と連携して、環境問題に対する意識の啓発を目的に、11回目となる「エコ活動啓発ポスター」のデザインを附属小中学校の生徒から募集した。12/9に学長室にて表彰式を行い、入賞者9名を表彰した。また、全応募作品は、学内外の方にご覧いただくため11月に図書館で展示を行った。【施設】</p>
キャンパスプラン	<p>◆環境マネジメントシステムについて継続的に取り組み、ISO 14001の維持審査を10/18,19に受審し、12/10付けで認証の更新が認められ、社会システム経営学環が認証範囲に追加となった。</p> <p>◆本学職員と学生による内部環境監査を実施し、11/4に学生内部環境監査員の修了証授与式を実施した。</p> <p>◆クリーンキャンパスに積極的に参加し、環境美化と環境への意識向上を図った。</p> <p>◆メール会議やWeb会議、電子決裁(ワークフロー)の活用により、用紙の使用抑制ができた。</p> <p>◆休憩時間における消灯、空調管理等による省エネルギーの取り組みを継続的に実施するとともに、クールビズの取り組みを実施することができた。</p> <p>◆事務系新任職員研修において、4/6に「ISO14001の取組について」の講義を実施した。【人事】</p> <p>◆国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)第7条第1項の規定に基づき、令和3年度における環境物品等の調達の推進を図るための方針を定め、HPで公表し、これに基づいて調達を推進した。【会計】</p> <p>◆国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)第8条第1項の規定に基づき、令和2年度における環境物品等の調達実績を取りまとめ、HPで公表した。【会計】</p> <p>◆環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針(平成31年2月8日変更閣議決定)に基づき、温室効果ガス等の排出に配慮した契約の締結に努めた。【会計】</p> <p>◆「学生・教職員に対して省エネルギー(経費節減)及び環境配慮への観点から、G-group及び電子掲示板で光熱水量の使用実績を公表した。【会計】</p> <p>◆省エネルギーを推進するため下記を実施した。【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科校舎及び地域科学部校舎H棟の空調設備を高効率機器に更新し、空調負荷を低減した。 ・応用生物科学部(A・C棟)Ⅲ期改修工事及び応用生物科学部(A棟)・(実験棟)Ⅳ期改修工事で省エネルギーに配慮した以下のことを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラスは複層ガラスとする。 ・照明設備は高効率照明器具とし、調光のため昼光センサーを取り付ける。 ・空調設備は高効率機器とし、換気設備に全熱交換機を採用し空調負荷を低減する。 ・各階毎に使用電力量が計測できるようにする。 <p>◆キャンパスマスタープランに基づき、環境保全を図ると共に、教職員・学生・学外の利用者が安全・安心で快適に過ごせる大学環境整備として以下の工事を実施した。【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <インフラ設備整備> 柳戸キャンパス基幹・環境整備(ライフライン再生④)排水設備等Ⅳ期工事で老朽化した給排水・ガス管の工事が完成した。(排水管からの漏水による環境汚染の防止等) ・給水ポンプ等の修理や高圧受電盤等の改修を実施した。 <構内道路・歩道修繕> 構内舗装の補修を行った。 <照明設備更新等> 柳戸団地農場管理棟他の照明を改修 <安全の確保> 医学部附属病院多用途型トリアージ施設が完成した。 ・雨漏れがあった地域協学センター他の屋上防水改修工事を行った。 ・教育学部棟他の昇降機設備の部品取替えを行った。 <研究拠点整備計画> 産業動物臨床実習施設が完成した。 糖鎖生命コア研究拠点の工事を引き続き実施している。 <p>◆PCB特別措置法に基づき、学内に残存するPCB廃棄物の調査を実施し、適正に処分した。【施設】</p> <p>◆環境への取り組みの充実【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海機構として環境報告書を発行し、岐阜大学の取り組みとして環境リーフレットを発行した。 ・「環境報告書2021」について、京都大学・企業と意見交換会を行った。 ・11月に環境月間行事を実施した。 ・本学の環境への取り組みが評価され、東京商工会議所主催の「eco検定アワード2021」において、教育機関として初めて大賞を受賞し、その表彰式で「岐阜大学の環境への取り組み」について発表を行った。(11/26表彰式) ・学生の環境活動を支援し、岐阜大学環境サークルG-ametが第12回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会で「学長賞」、ASCN(アジア・サステイナブルキャンパス・ネットワーク)2021年次大会で「金賞」を受賞した。

令和3年度環境活動報告

部局名： 研究推進部

教育	
研究	
社会連携	<ul style="list-style-type: none">・公開講座等の実施 各学部で環境をテーマとする公開講座を「岐阜大学重点講座(環境)」として実施することにより、環境に関する地域住民の意識を高めた。 《令和3年度実施分》「岐阜大学重点講座(環境)」『SDGs×地(知)の拠点-人がつながる地域づくりと大学-』遠隔型zoomにて実施・岐阜大学COC「地域志向学プロジェクト」の実施 自治体・地元企業等との受託研究・学術コンサルタント等を実施し、地域の課題解決に向けた地域志向学プロジェクトを推進した。 《令和3年度実施分》瑞浪市 地方自治体における政策研究 他・フューチャーセンターの実施 「まちづくりのための幸せを考える」、「中部電力とともに地域の未来の姿を描く」をテーマに実施し、岐大生の環境意識を高めた。・自治体との連携協力 石川県と連携して、絶滅のおそれのある石川県指定希少野生動植物種のサドククルマユリの保全を目的とした受託研究を行った。・次世代地域リーダー育成プログラムに、令和2年度に新たに創設した環境リーダーコースを令和3年度から実施した。
キャンパスプラン	<ul style="list-style-type: none">・「ISO14001環境マネジメントシステム」の一層の推進を図った。・クリーンキャンパスに積極的に参加し、環境美化に努めた。・「ISO14001環境マネジメントシステム」に係る教育訓練再確認シートを定期的に記入し、自己啓発に努めた。・岐阜大学環境方針を常時携帯し、周知カードに各人の役割、環境保全活動を記載し、実行した。

令和3年度環境活動報告

部局名： 学務部

教育	<p>1. カリキュラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none">・(R3活動計画)環境保全教育 教学委員会において、全学の環境活動計画を周知し、環境保全の重要性を深める教育の一層の推進を図る。→全学共通教育において、環境に関する授業科目を35科目開講し、1762人の受講者があった。 <p>2. 正課外活動における環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・(R3活動計画)環境保全活動を実施している学生の課外活動団体に対し支援を行う。→課外環境活動を実施している学生団体「岐阜大学環境サークルG-amet」に対して経済支援をした。同サークルは、第12回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会で学長賞を受賞しており、岐阜大学としても副学長表彰を授与した。 <ul style="list-style-type: none">・(R3活動計画)「クリーンキャンパス」に学生の積極的な参加を促し、環境保全教育に取り組む。→全学の学生へクリーンキャンパスへの参加をメールにて呼びかけた。学生団体「岐阜大学環境サークルG-amet」の参加を確認している。
研究	
社会連携	
キャンパスプラン	<ul style="list-style-type: none">・「ISO14001環境マネジメントシステム」の一層の推進を図った。・環境美化を行い緑地保全を推進するため、クリーンキャンパスに積極的に参加した。・「ISO14001環境マネジメントシステム」に係る教育訓練再確認シートを定期的に記入し、自己啓発に努めた。・岐阜大学環境方針を常時携帯し、周知カードに各人の役割、環境保全活動を記載し、実行した。・昼休み時間における消灯、講義室の消灯、裏紙活用、縮小印刷など資源の再利用を促進し、省エネルギーに関する取組をより一層推進した。